



大城 節子 議員

幼児健診について

質 本年度も年6回の幼児健診が行われる事になっておりますが、健診内容と前年度の受診率を伺う。

答 健康保険課長（新里 勝弘）

健診内容は、保健師による問診、身長体重の測定、貧血検査、小児科医師の診察、歯科医師の診察、歯科衛生士のブラッシング指導、保健相談、栄養相談、心理士による育児相談等を実施しています。受診率は、1歳半健診対象者97人、受診者76人、78.3%、3歳児健診は、対象者94人、受診者60人、受診率63%となっております。

質 3歳になると半分以上の子供が1.0見えるようになり視力が測れるようになりますが、視力検査もやっているのか伺う。

答 健康保険課長（新里 勝弘）

病院などで実施する数値が出る視力



新城 哲 議員

安富祖小学校の校内整備について

質 安富祖小学校体育館下の駐車場に砂利が敷かれています。コンクリートかアスファルトを敷いていただきたいとの要望もありません。取り組み状況について伺う。

答 学校教育課長（仲村 泰弘）

昨年度学校等の要望を受け、現在の碎石敷きに整備したところですが、整備してまだ間もないため碎石の表面が落ちているので、今後状況を観察しながら、対応していきたいと考えています。



▲安富祖小学校体育館下駐車場の現状

検査等ではありません。健診前資料を配布して簡易的な検査をしています。

質 弱視を3歳迄に見つけることが出来たら治療は可能だということです。人の情報の85%以上は目から入ると言われています。子供たちが将来、社会に出て十分に働くことが出来るように、是非視力検査を実施していただきたいと思いい当局の見解を伺う。

答 健康保険課長（新里 勝弘）

幼児の弱視は早期に見つけることで治療が可能であり、屈折検査等で発見するのが有効だと言ったことになっていきます。屈折検査機器の導入については、基準の設定、精度の管理眼科医療機関における精密検査等、地域の医療団体とも連携が必要となり、そういう整備を進めながら導入に向けて検討していきたいと考えています。

高齢者の運転免許証の自主返納について

質 高齢者の運転による交通事故が社会問題化しています。運転免許証の自主返納や返納後身分証として使える運転経歴証明証の活用を広げるため、車を運転出来なくなる事で生活に支障をきたさないた

めにも、当局でも特典を提供して欲しいと思います。国、県は高齢者の自主返納に対しバス賃50%割引、タクシー10%割引を行っています。村としても50%割引の特典をしてくれたら、足が元気で動けるうちに免許証を返納し、バスを大いに利用し、今日行く、今日用を作ってお出かけてほしい、足も元気になり介護予防にもつながると思えます。老いというのは誰も避けることは出来ません。恩納村のお年寄りの方々が益々元気で過ごせるように、運転免許証の自主返納に対し、当局の見解を伺う。

答 福祉課長（石川 司）

高齢者の運転免許証の自主返納についての村独自の特典などの制度は、現在整備されていません。村においても地域のニーズに合った恩納村型免許返納優遇制度を財源の確保も含めて調査研究し、免許返納後の生活が快適に過ごせるよう整備していければと考えています。

質 当局はよく質問したことにに対し、「ご質問いただくと考えております」と答弁されるのですが、質問で、すぐに取り組む事が出来るものや、予算の兼ね合いや県への手続き等で時間のかかる件もあると思えますが、どのような流れで協議をしているのか伺う。

河口閉塞について

質 河口を開けることが必要です。取り組み状況について伺う。

答 建設課長（屋良 朝也）

河川ごとに風向きや海岸の向きにより閉塞する時期が異なり、閉塞が除去されない箇所については重機を導入して除去していきたい。また導流堤などの整備が有効ですが、閉塞していることにより上流側で被害が起きている箇所などから優先順位を決めたいと考えています。

陳情第17号について

質 昨年、陳情17号として受付されました。取り組み状況について伺う。

答 総務課長（宮平 寛）

①自治会館駐車場を確保したい↓用地買収業務等を前提とした事業です。ので、多額の予算が必要となります。優先順位を勘案しながら計画的な事業導入が必要だと考えています。②公園がほしい↓補助事業の活用ができないのかどうか検討していきたいと考えています。③防災備品を揃えたい↓希望ヶ丘自治会館は、災害時



▲河口閉塞の現状

答 福祉課長（石川 司）

一般質問に対する答弁及び説明した内容に対し「調査研究、検討等を行います」と、答弁ではお答えしています。一般質問に対する事務対応は、初めに提案及び指摘された事業内容を課内共有し、提案された事業、事務量や補助事業等も含めた財源等の協議を行い、短期で実施できる事業と、長期的に計画して進める事業の振り分けを行い、優先順位をつけて行っています。ただし、緊急性の高い事業においては短期間で着手する場合があります。

空き教室の活用について

質 小学校の空き教室を、子供たちと地域の大人たちのふれあいの場、誰でも気軽に足を運べる場所として活用できないか伺う。

答 学校教育課長（仲村 泰弘）

現在、恩納小学校、仲泊小学校、うんな中学校には地域連携室が設置されています。山田小学校については、休園中の幼稚園を活用し、安富祖小学校につきましては、今後別棟の空き教室に設ける計画です。本校舎から離れている地域連携室に関しては、学校と協議しながら、地域活性化のため教室の活用を進めていきたいと考えています。

の一時避難場所だと指定されているところ。村内に防災倉庫7か所、指定避難場所に設置、地理的条件とが勘案しながら含め増やしていくことと考えていきたいと思っています。

答 建設課長（屋良 朝也）

④崖の危険調査↓崖の木を伐採することによって歩行者が安全に通行できると考えています。⑤道路の補修。⑥道路に徐行を促す表示に関する。今後下水道整備が行われますので、それを確認しながら検討したいと考えています。⑦希望ヶ丘内の除草作業を有償にて請け負いたい↓現在、業者へ委託していますので、できない旨をお伝えしています。



▼希望ヶ丘自治会館の現状